Smith+Nephew

ULTRABUTTON

Adjustable Fixation Device





ウルトラボタン ADJUSTABLE
Graft Cradle

・移植腱を保護するユニークなデザインです。
・ウルトラボタンと移植腱の間で発生する動きとソーイング効果を減少します。



Adjustment Tails

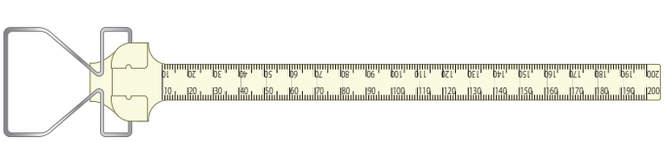
・アジャスタブルループが 1 本に纏まっているため
微調整が可能で、片縛りのリスクを軽減します。

Ordering Information

カタログ番号	製品名	
72290003	ウルトラボタン ADJUSTABLE	セット販売
7211080※	ウルトラブレイド 2 号白針付 1 本入	※フリップ用の糸となります、予め針は落として ご使用願います。単体販売は行っておりません。
SNJ00129	ウルトラボタンホルダー	
SNJ00129SH	ウルトラボタンホルダー SHORT	
SNJ00128	ウルトラサック	
SNJ00130	ウルトラワインダー	



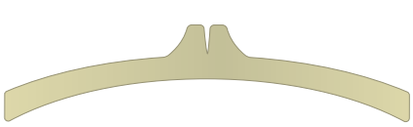
ウルトラボタン ADJUSTABLE



ウルトラボタンホルダー



ウルトラボタンホルダー SHORT



ウルトラサック



ウルトラワインダー

目次

1. プレ・アジャスタブル有り
① ウルトラボタンの準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
② ウルトラボタンの設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
③ グラフトの引上げ(ウルトラサックを使用した方法) ・・・・4
④ グラフトの引上げ(ウルトラワインダーを使用した方法) ・・5

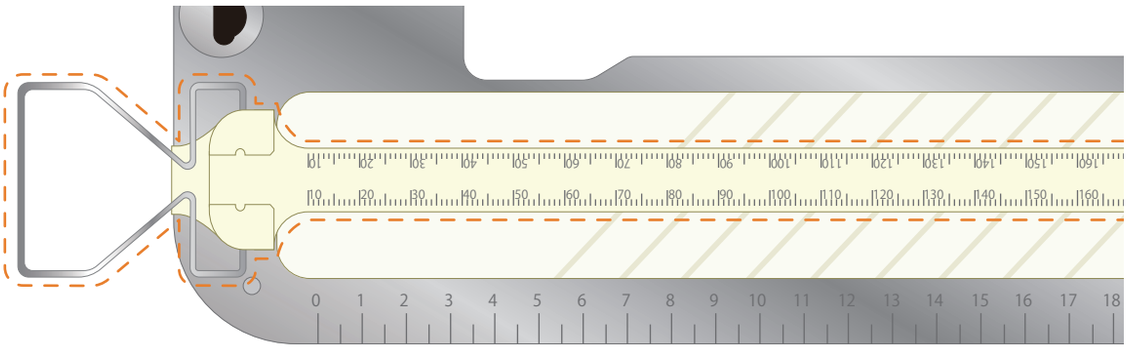
2. プレ・アジャスタブル無し
① ウルトラボタンの準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
② ウルトラボタンの設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
③ グラフトの引上げ(ウルトラサックを使用した方法) ・・・・8
④ グラフトの引上げ(ウルトラワインダーを使用した方法) ・・10

3.アジャスタブルループのカット ・・・・・・・・・・・・・・・10

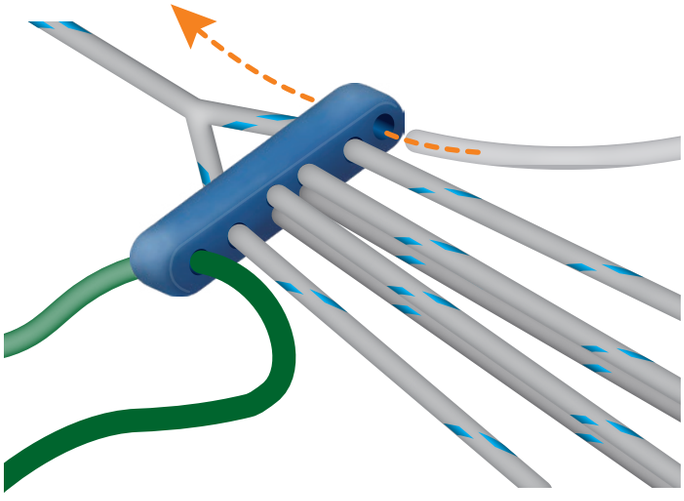
4. アジャスタブルループの緩ませ方法・・・・・・・・・・・・・11

1． プレ・アジャスタブル有り ①ウルトラボタンの準備

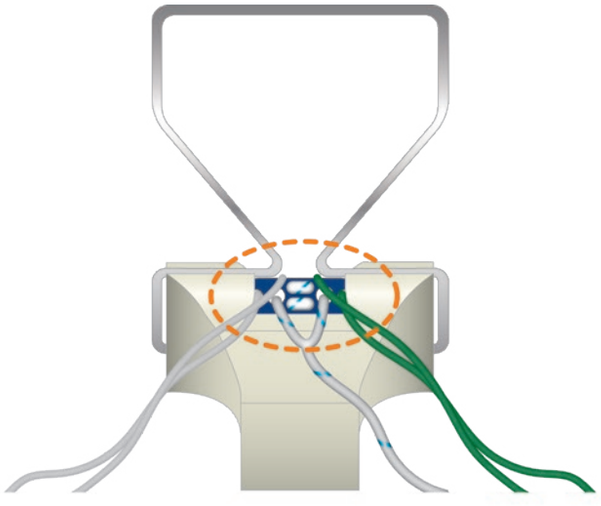
グラフトマスターⅢにウルトラボタンホルダーを設置します。



ウルトラボタンをウルトラボタンホルダーにはめ込む前にフリップ用のウルトラブレイド2号を取り付けます。

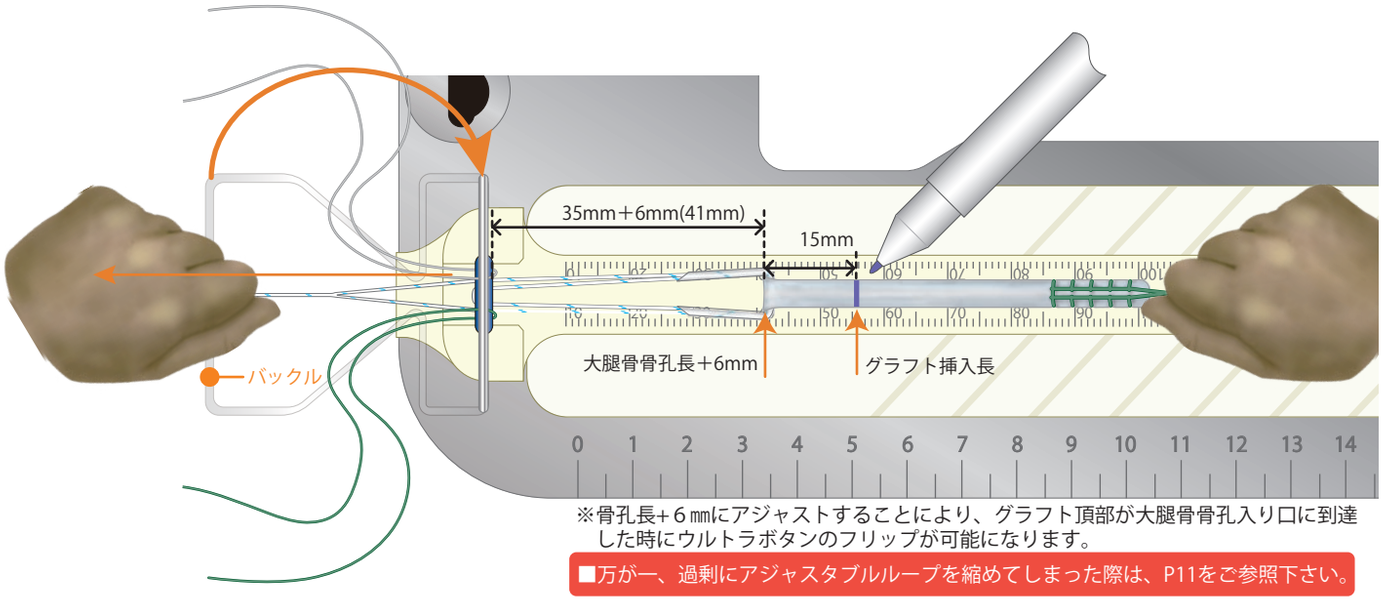


ウルトラボタンに繋がっている糸は、起こしたバックルの中を通します。



グラフトを取り付けたウルトラボタンをウルトラボタンホルダーにはめ込みバックルを起こしてボタンを固定します。次にグラフトに「グラフト挿入長」のマーキングをします。最後にグラフト脛骨側を把持し、アジャスタブルスーチャーを引っ張り、グラフトとウルトラボタンのジャンクション部分がウルトラボタンホルダーの「大腿骨骨孔長＋6mm」の位置に到達するまでアジャスタブルループを縮めます。

例）骨孔長：35mm　グラフト挿入長：15mm

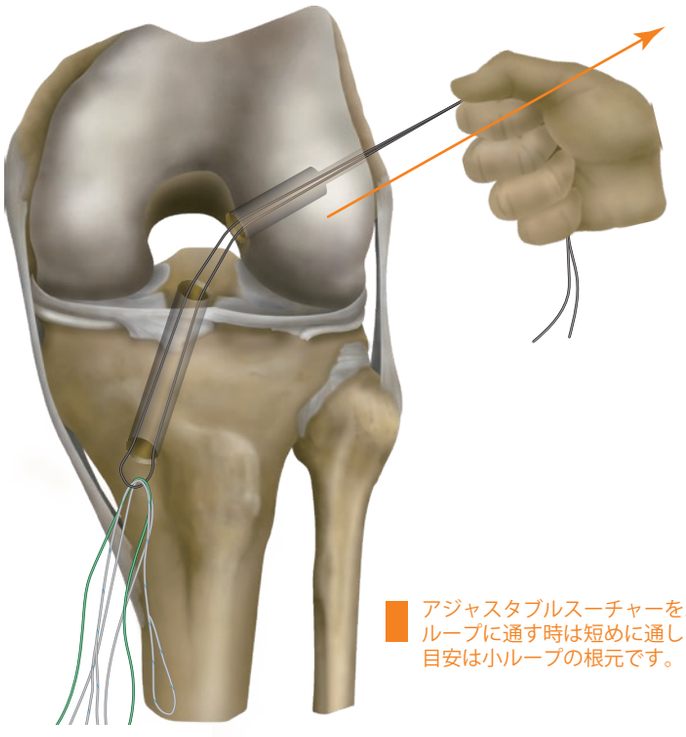


※骨孔長＋６㎜にアジャストすることにより、グラフト頂部が大腿骨骨孔入り口に到達した時にウルトラボタンのフリップが可能になります。

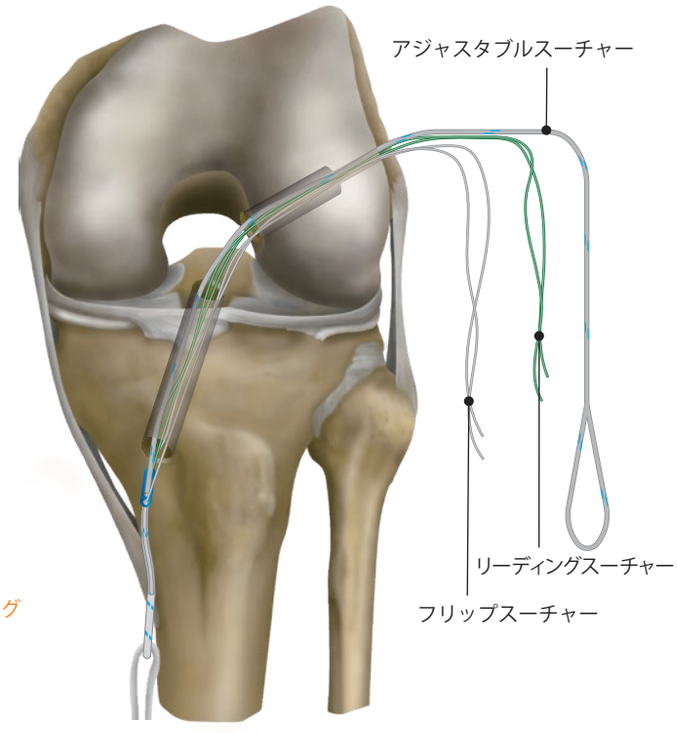
■万が一、過剰にアジャスタブルループを縮めてしまった際は、P11をご参照下さい。

1． プレ・アジャスタブル有り ②ウルトラボタンの設置

パッシングループにウルトラボタンに付属しているアジャスタブルスーチャー／リーディングスーチャー／フリップスーチャーを通し、大腿骨外側へ引き抜きます。



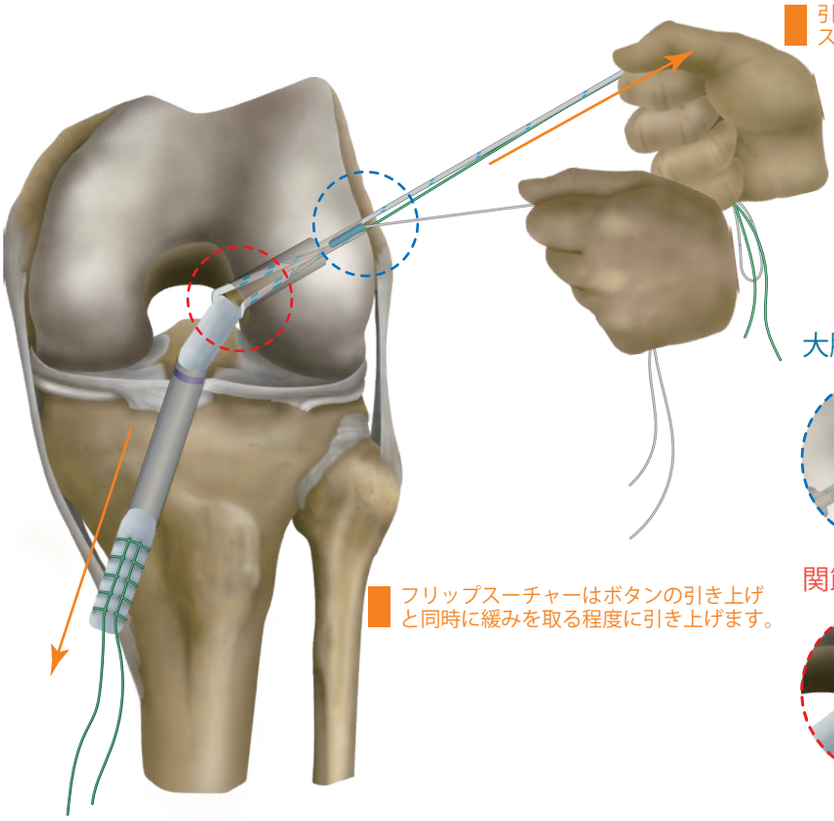
アジャスタブルスーチャーをパッシングループに通す時は短めに通します。
目安は小ループの根元です。



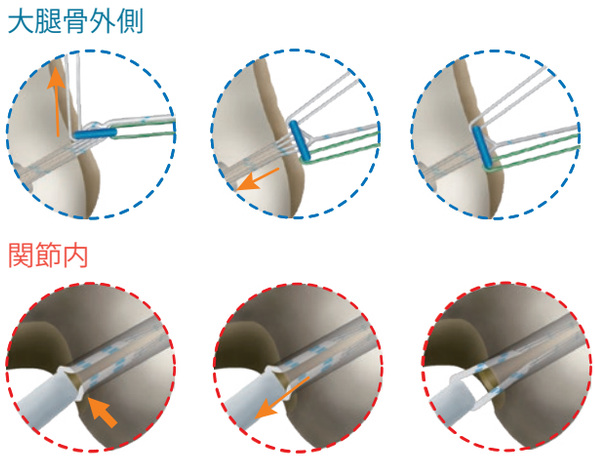
グラフト頂部が、大腿骨骨孔入り口に到達するまでアジャスタブルスーチャーとリーディングスーチャーをゆっくりと引き上げます。ジャンクション部分まで引き上げたらフリップスーチャーを引きボタンをフリップさせ、脛骨側よりカウンターを加えボタンを大腿骨外側へ固定します。

引き上げの時は必ずアジャスタブルスーチャーとリーディングスーチャーを一緒に引き上げます。

■引き上げの際、アジャスタブルループのみ引き上げてしまうと、ループが縮んでしまうためご注意ください。
万が一、過剰にアジャスタブルループを縮めてしまった際は、P11をご参照下さい。

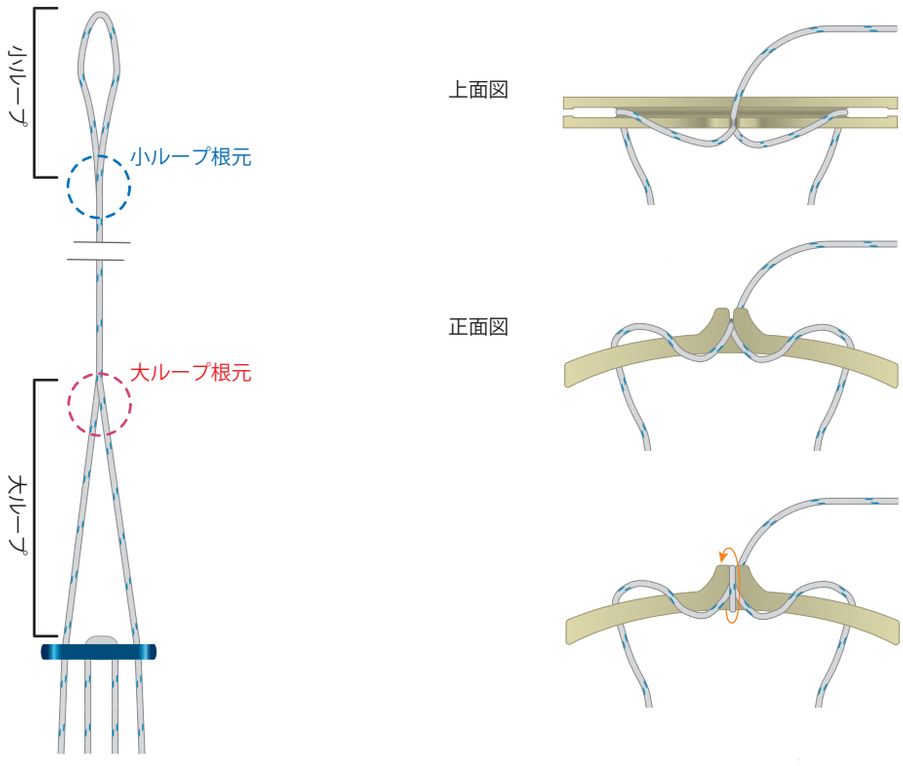


フリップスーチャーはボタンの引き上げと同時に緩みを取る程度に引き上げます。

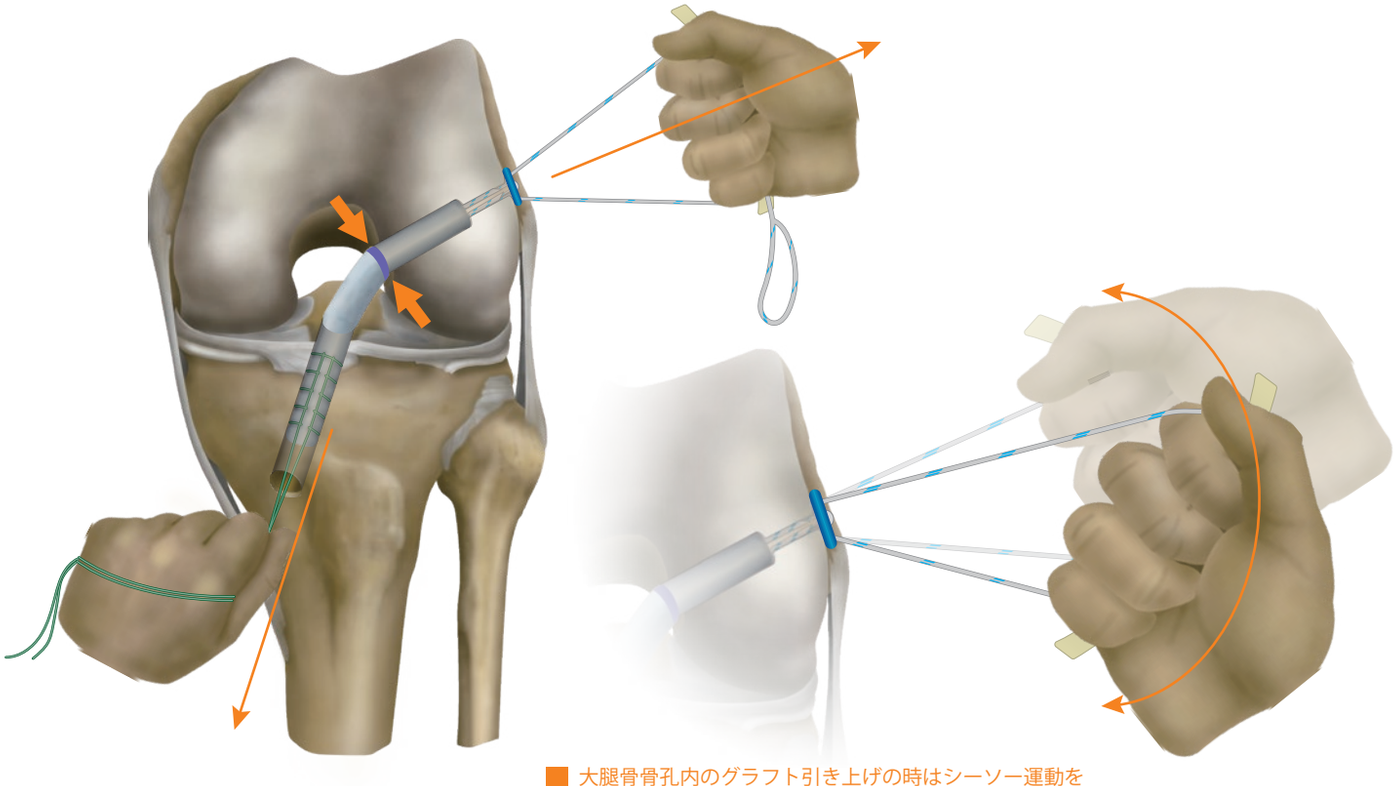


1．プレ・アジャスタブル有り ③グラフトの引上げ（ウルトラサックを使用した方法）

グラフト引き上げの時はオプション器械のウルトラサックを使用すると効率的です。
アジャスタブルスーチャーの大ループ根元をウルトラサックへ取り付けて引き上げます。



大ループ根元にウルトラサックを取り付け、脛骨側から軽くカウンターを加えた状態でグラフトマーキングの「グラフト挿入長」が大腿骨骨孔入り口に到達するまで引き上げます。

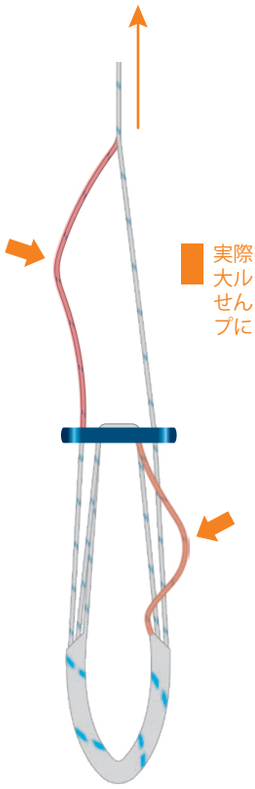


大腿骨骨孔内のグラフト引き上げの時はシーソー運動を行って引き上げると、均等にループが縮みます。

1．プレ・アジャスタブル有り ③グラフトの引上げ（ウルトラサックを使用した方法）

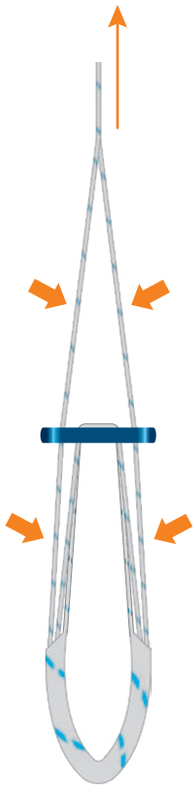
グラフトの引き上げがきちんと行われたか、アジャスタブルスーチャーを垂直に引っ張り、ループに緩みが無いか確認します。

異常



実際の手術ではアジャスタブルスーチャーの大ループ部分の緩みしか確認する事が出来ませんが、大腿骨骨孔内のアジャスタブルループにも緩みが生じます。

正常

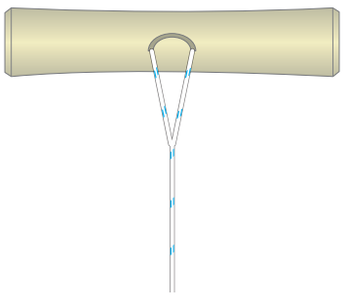


緩みはありません。

1．プレ・アジャスタブル有り ④グラフトの引上げ（ウルトラワインダーを使用した方法）

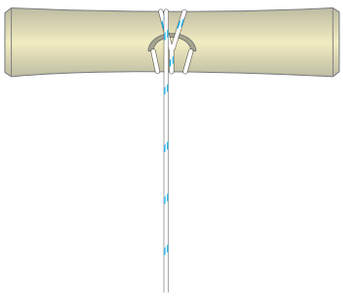
ウルトラワインダーはウルトラサック同様にグラフトを引き上げる器械です。いずれかを選択してご使用ください。

①



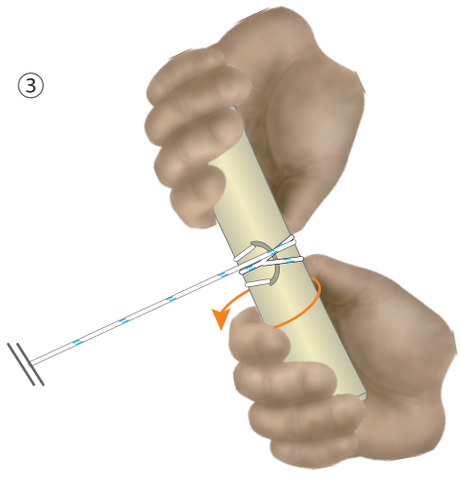
ウルトラワインダーにアジャスタブルスーチャーの小ループを装着します。

②



ウルトラワインダーにアジャスタブルスーチャーを巻き付けます。

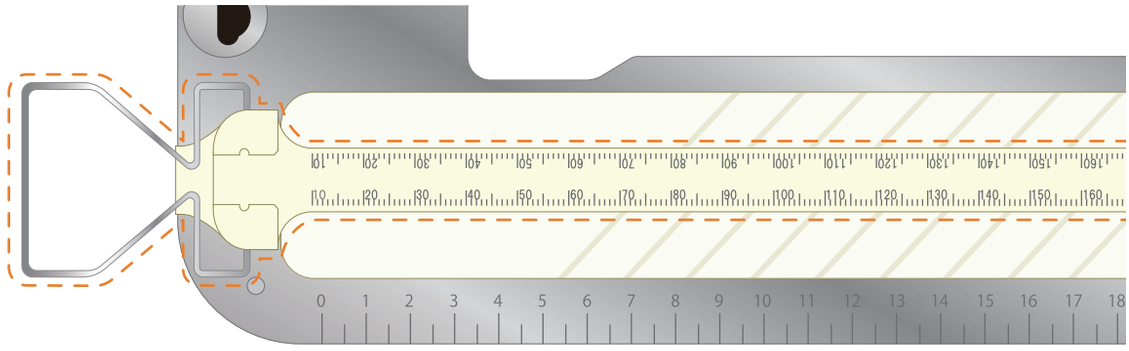
③



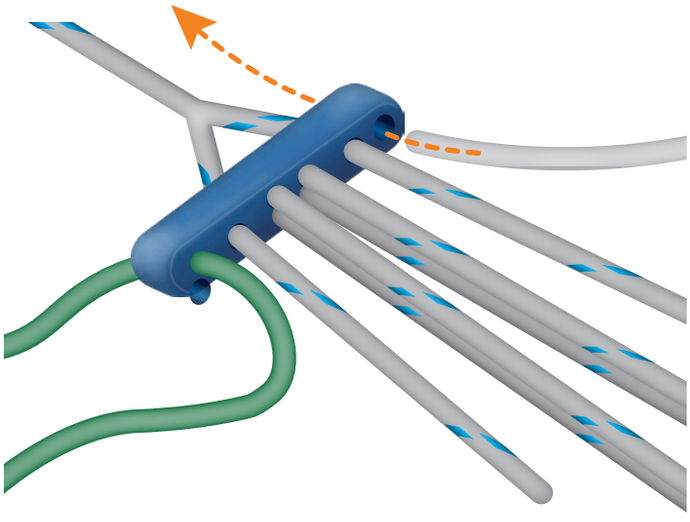
絞りながら真っすぐ引き上げます。

2.　プレ・アジャスタブル無し ①ウルトラボタンの準備

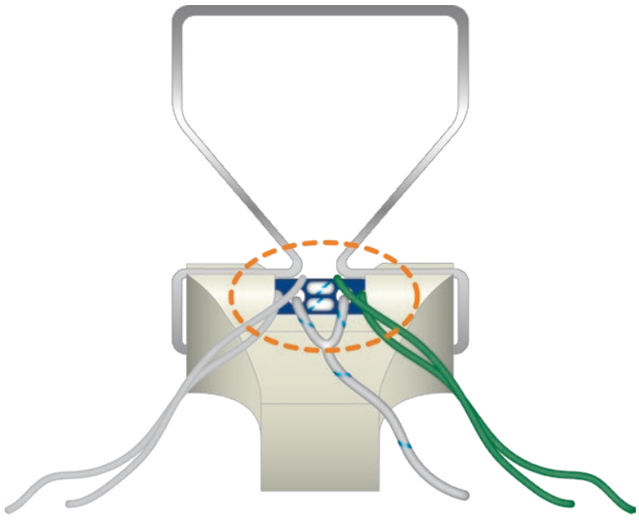
グラフトマスターⅢにウルトラボタンホルダーを設置します。



■ウルトラボタンをウルトラボタンホルダーにはめ込む前に
フリップ用のウルトラブレイド2号を取り付けます。

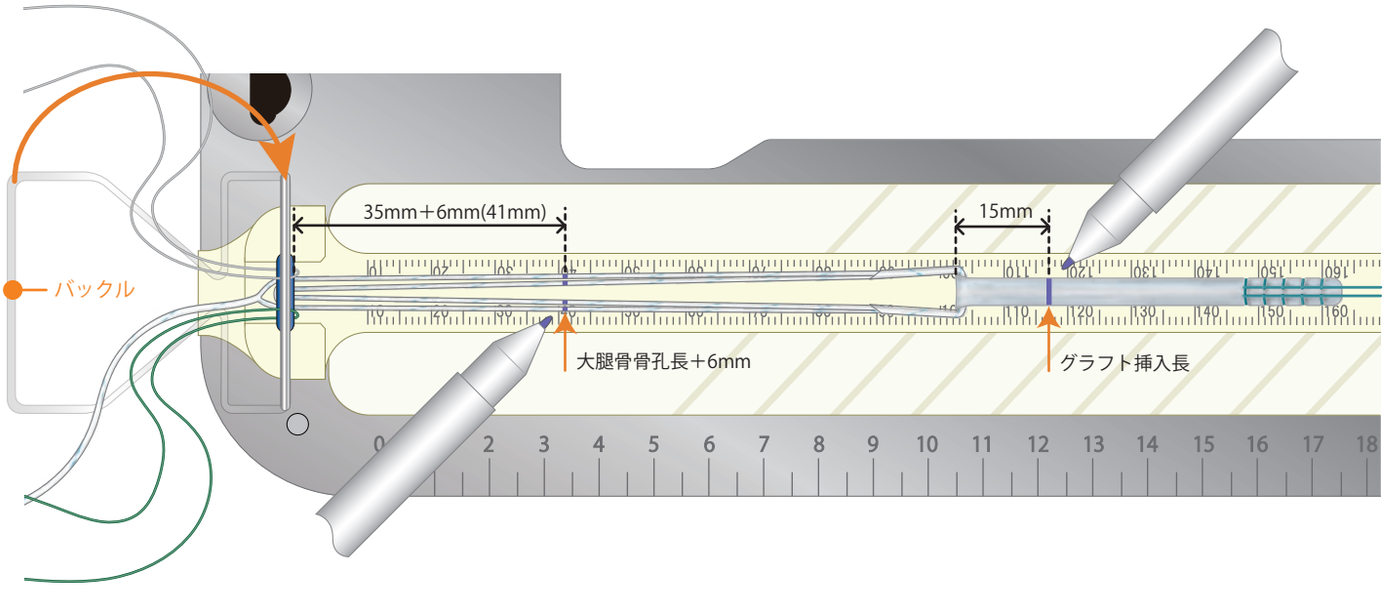


■ウルトラボタンに繋がっている糸は、起こしたバックルの中を
通します。



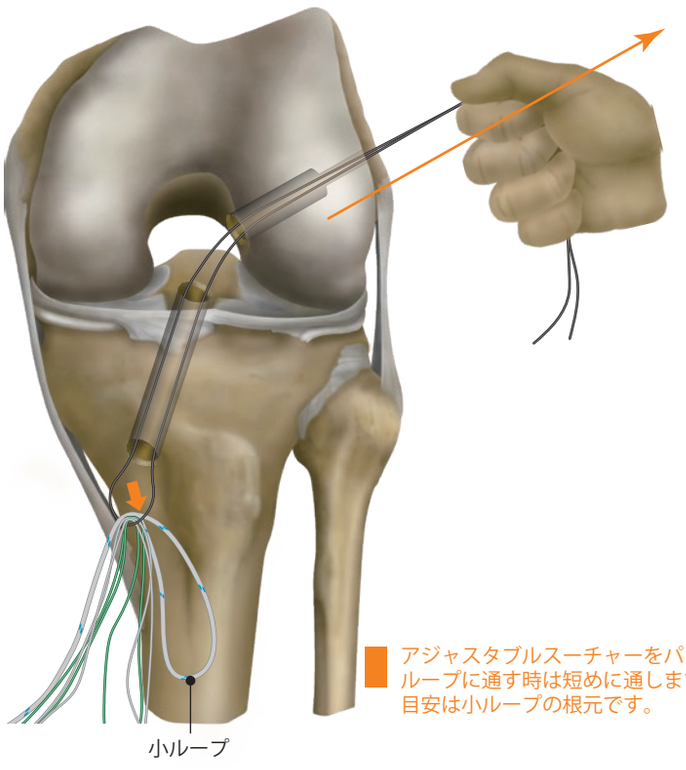
グラフトを取り付けたウルトラボタンをウルトラボタンホルダーにはめ込み、バックルを起こしてボタンを固定し、アジャスタブルループ部分に「大腿骨骨孔長+6mm」、グラフト部分には「グラフト挿入長」のマーキングをします。

例）骨孔長：35mm　グラフト挿入長：15mm

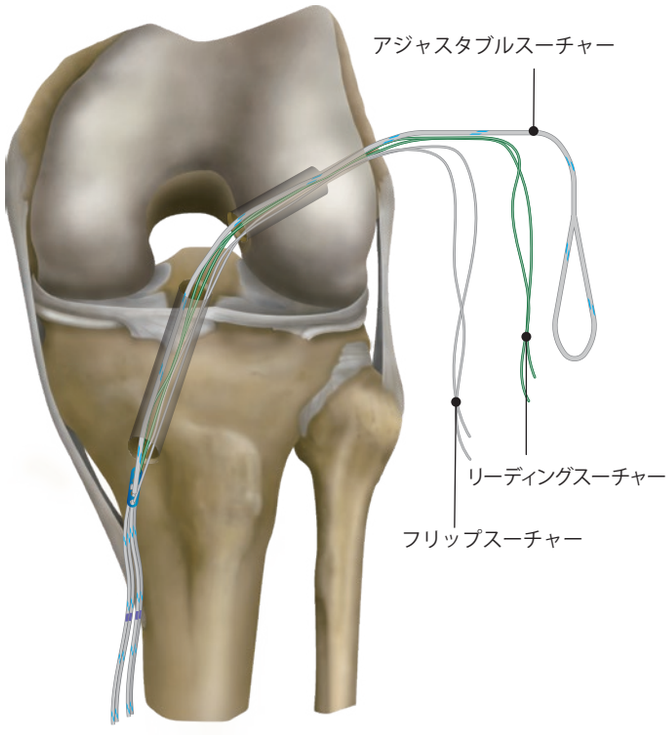


2.　プレ・アジャスタブル無し ②ウルトラボタンの設置

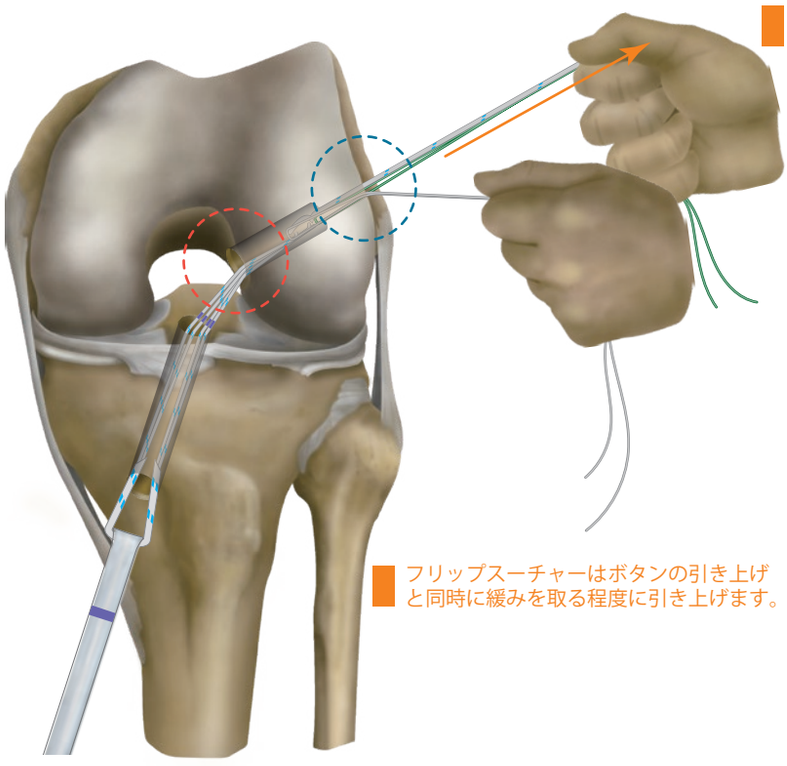
パッシングループにウルトラボタンに付属しているアジャスタブルスーチャー／リーディングスーチャー／フリップスーチャーを通し、大腿骨外側へ引き抜きます。



アジャスタブルスーチャーをパッシングループに通す時は短めに通します。
目安は小ループの根元です。



アジャスタブルループにマーキングした「骨孔長＋6mm」が大腿骨骨孔入り口に到達するまでアジャスタブルスーチャーとリーディーングスーチャーをゆっくりと引き上げます。マーキング部分まで引き上げたらフリップスーチャーを引き、ボタンをフリップさせ脛骨側よりカウンターを加えボタンを大腿骨外側へ固定します。

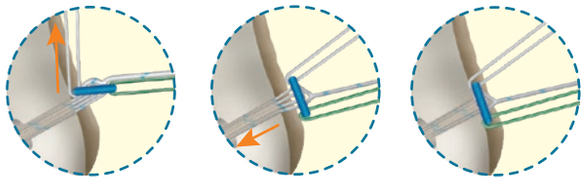


フリップスーチャーはボタンの引き上げと同時に緩みを取る程度に引き上げます。

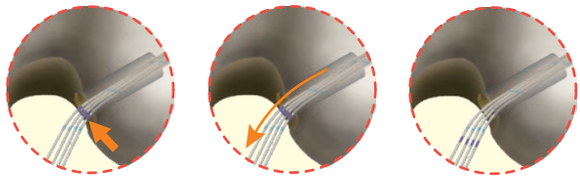
引き上げの時は必ずアジャスタブルスーチャーとリーディングスーチャーを一緒に引き上げます。

■引き上げの際、アジャスタブルループのみ引き上げてしまうと、ループが縮んでしまうためご注意ください。
万が一、過剰にアジャスタブルループを縮めてしまった際は、P11をご参照下さい。

大腿骨外側

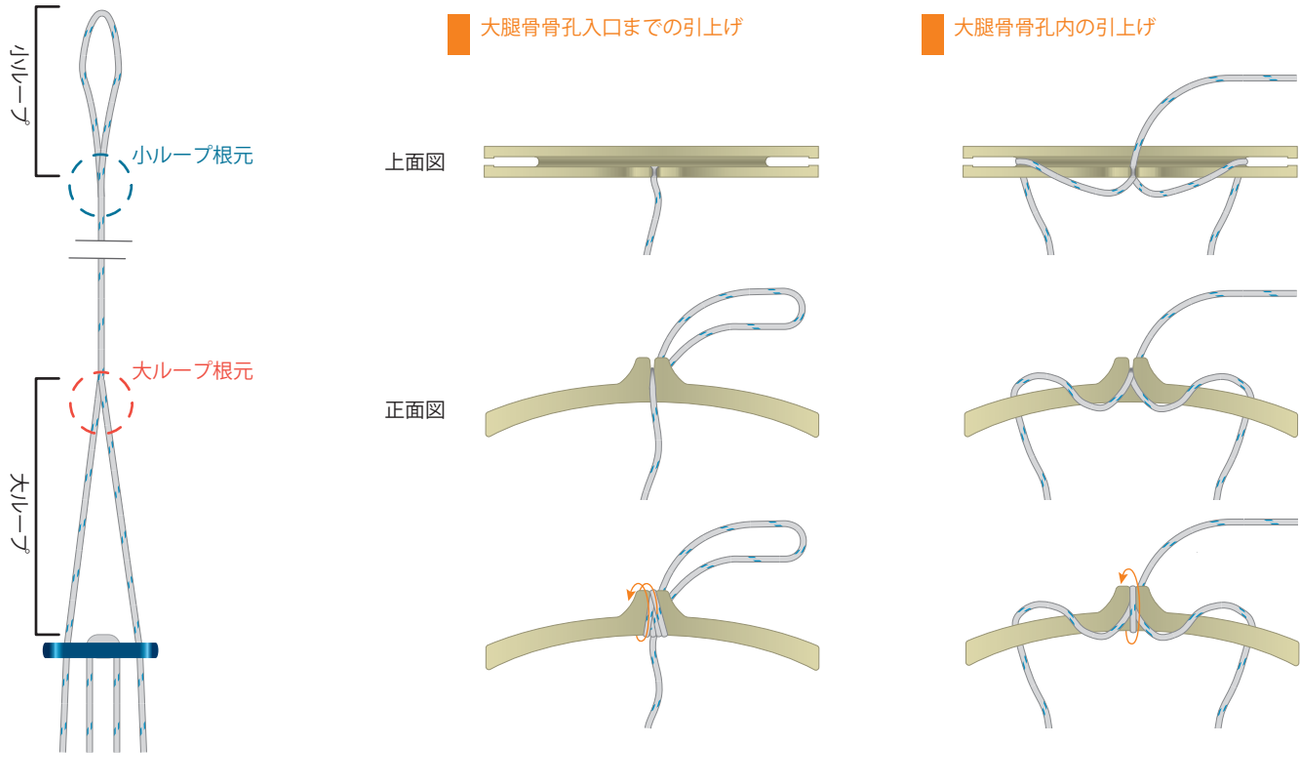


関節内

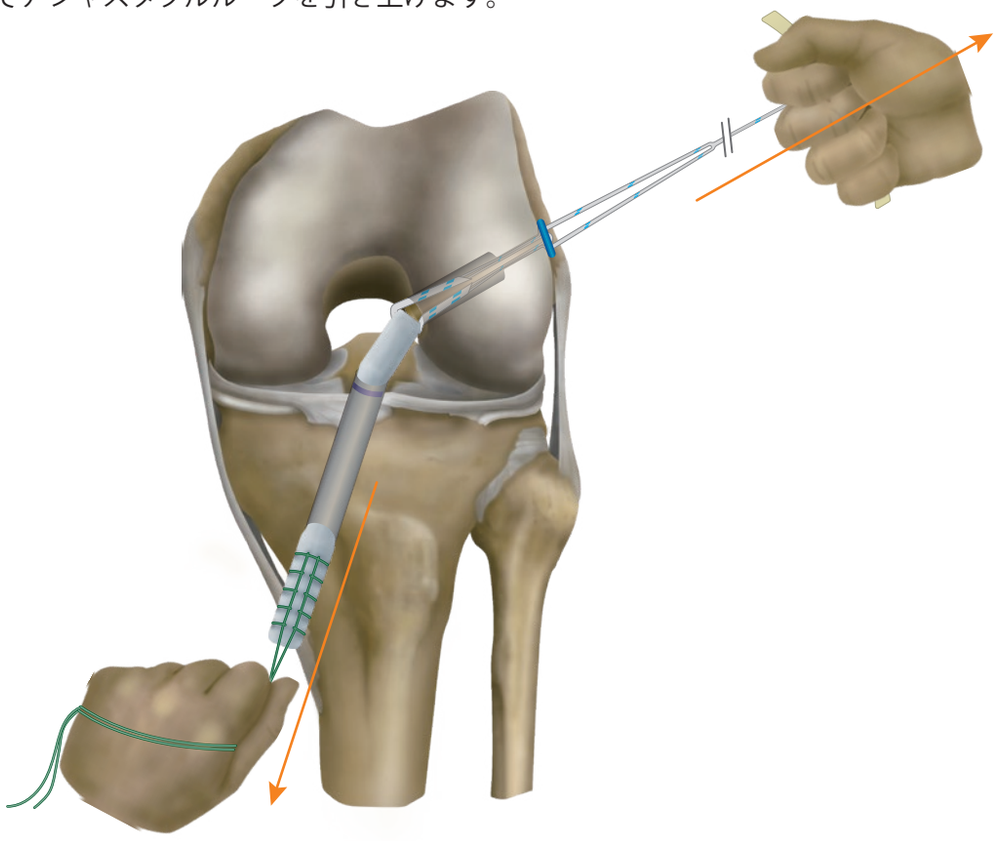


2. プレ・アジャスタブル無し ③グラフトの引上げ（ウルトラサックを使用した方法）

グラフト引き上げの時はオプション器械のウルトラサックを使用すると効率的です。
アジャスタブルループを縮め、グラフトを大腿骨骨孔内へ引き上げる時は、アジャスタブスーチャーの小ループ根元をウルトラサックへ取り付けて引き上げます。グラフトを大腿骨骨孔内へ引き上げる時は、アジャスタブルスーチャーの大ループ根元をウルトラサックへ取り付けて引き上げます。

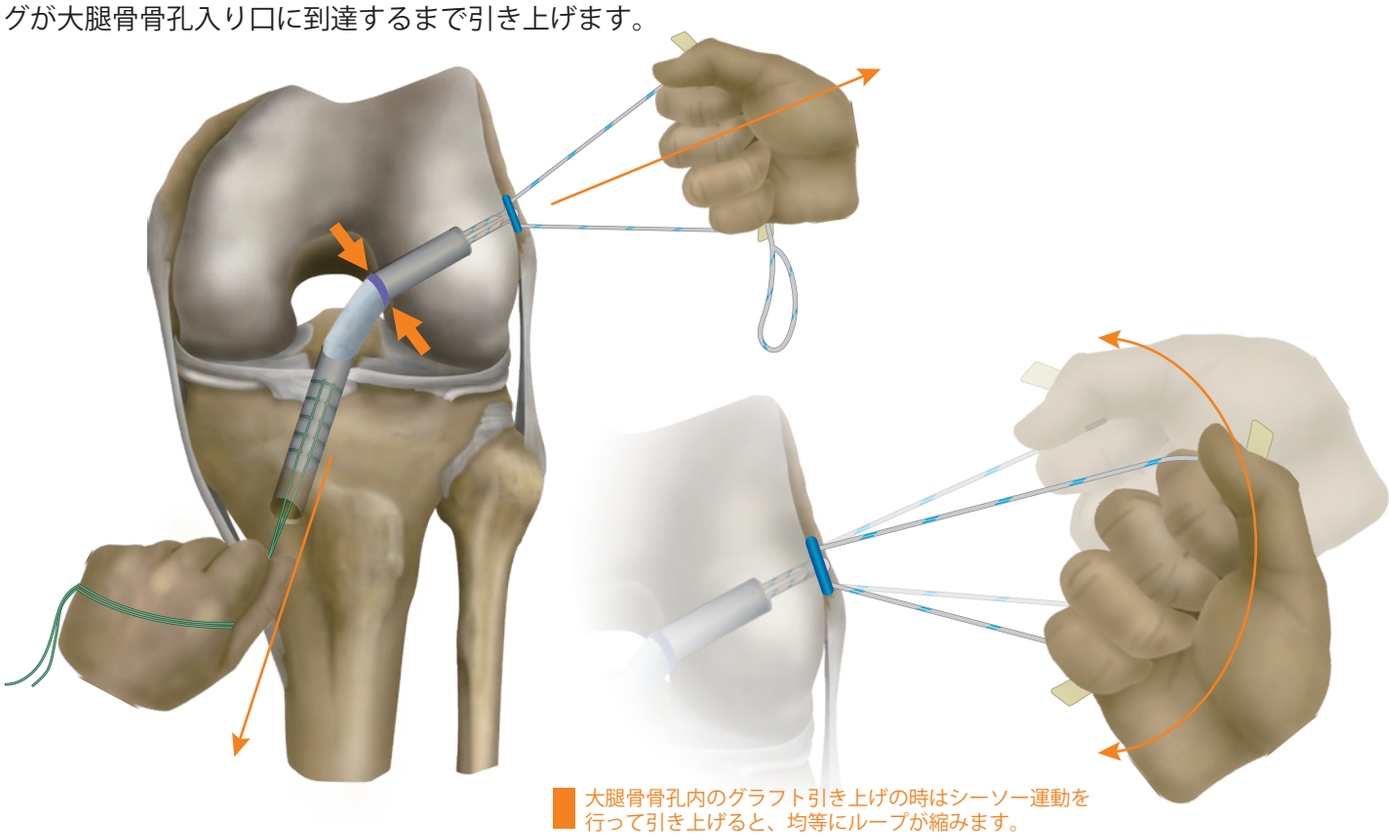


ウルトラサックに小ループを引っ掛け、脛骨側よりグラフトにカウンターを加ながら、グラフト頂部が大腿骨骨孔入り口に到達するまでアジャスタブルループを引き上げます。



2. プレ・アジャスタブル無し ③グラフトの引上げ（ウルトラサックを使用した方法）

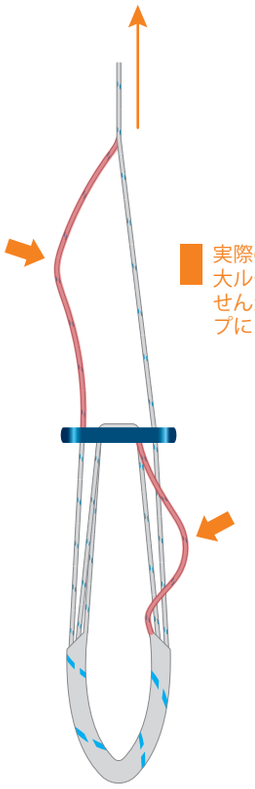
大ループ根元にウルトラサックを取り付け、脛骨側から軽くカウンターを掛けた状態で、グラフトのマーキングが大腿骨骨孔入り口に到達するまで引き上げます。



大腿骨骨孔内のグラフト引き上げの時はシーソー運動を行って引き上げると、均等にループが縮みます。

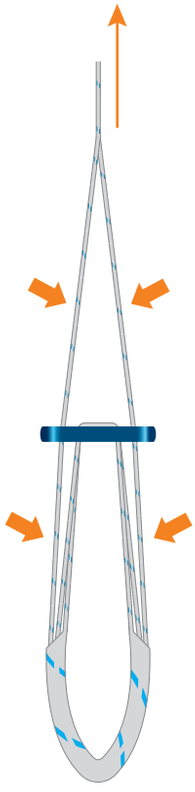
グラフトの引き上げがきちんと行われたか、アジャスタブルスーチャーを垂直に引っ張り、ループに緩みが無いか確認します。

異常



実際の手術ではアジャスタブルスーチャーの大ループ部分の緩みしか確認する事が出来ませんが、大腿骨骨孔内のアジャスタブルループにも緩みが生じます。

正常

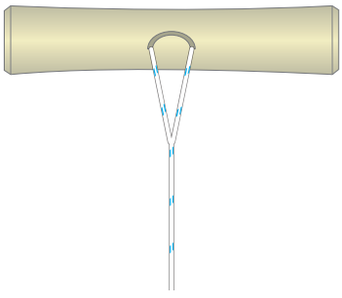


緩みはありません。

2. プレ・アジャスタブル有り ④グラフトの引上げ（ウルトラワインダーを使用した方法）

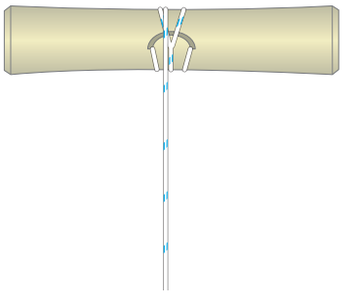
ウルトラワインダーはウルトラサック同様にグラフトを引き上げる器械です。いずれかを選択してご使用ください。

①



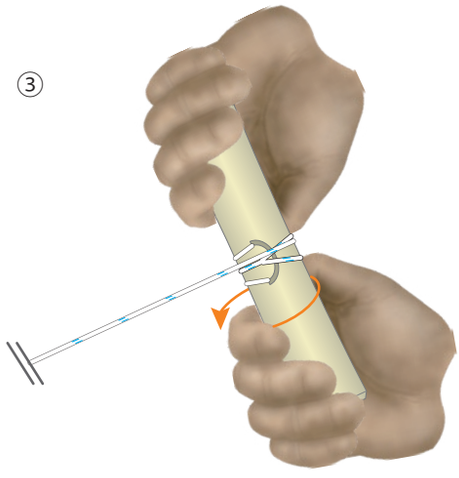
ウルトラワインダーにアジャスタブルスーチャーの小ループを装着します。

②



ウルトラワインダーにアジャスタブルスーチャーを巻き付けます。

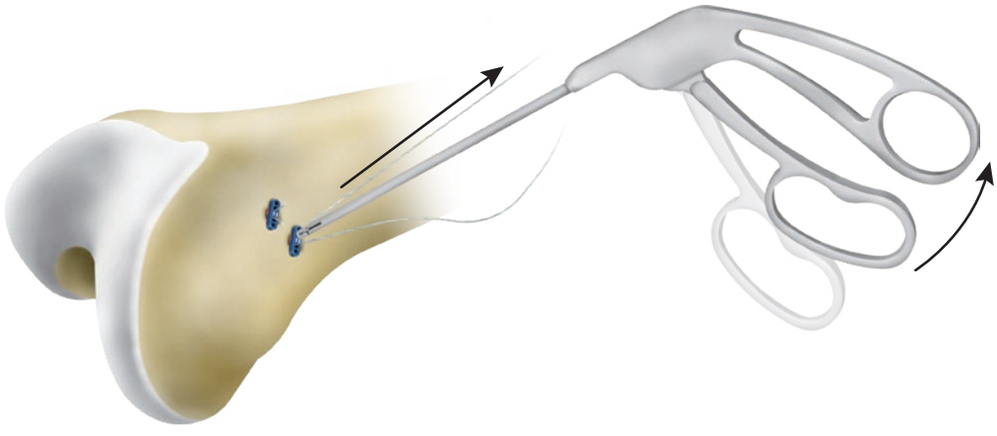
③



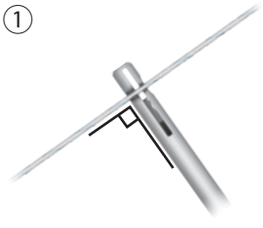
絞りながら真っすぐ引き上げます。

3. アジャスタブルループのカット

スーチャーカッタースムースを使用して、アジャスタブルループを１本ずつカットします。カットするスーチャーを張った状態でスーチャーカッタースムースのレバーを握ります。

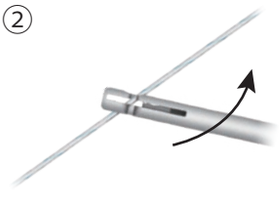


①



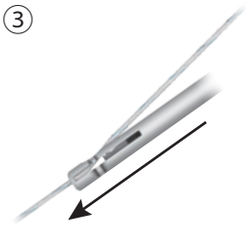
スーチャーに対して垂直にカッター側面のスリットを嵌め込みます。

②



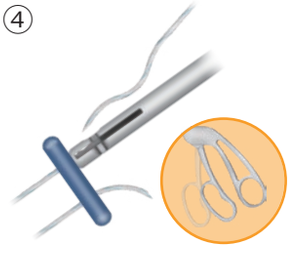
カッターの先端がボタン側へ向くよう傾けます。

③



スーチャーと同じベクトルでカッターを進めます。

④

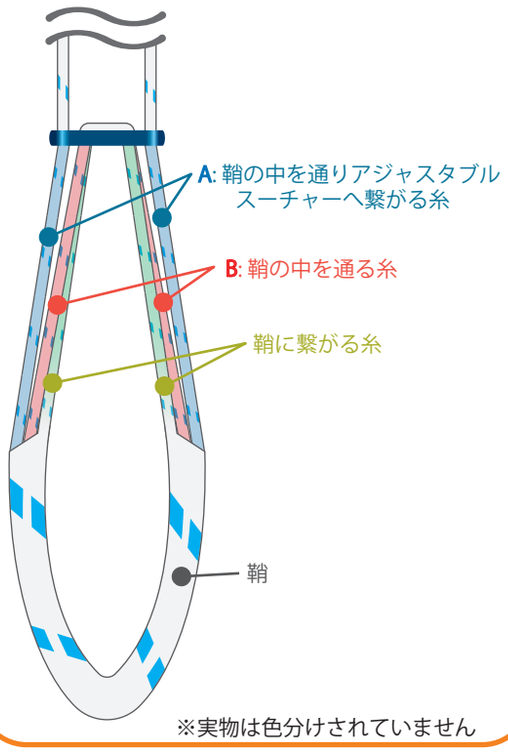


カッター先端がボタンに当たった事が確認できたらレバーを握りカットします。

4.　アジャスタブルループの緩ませ方法

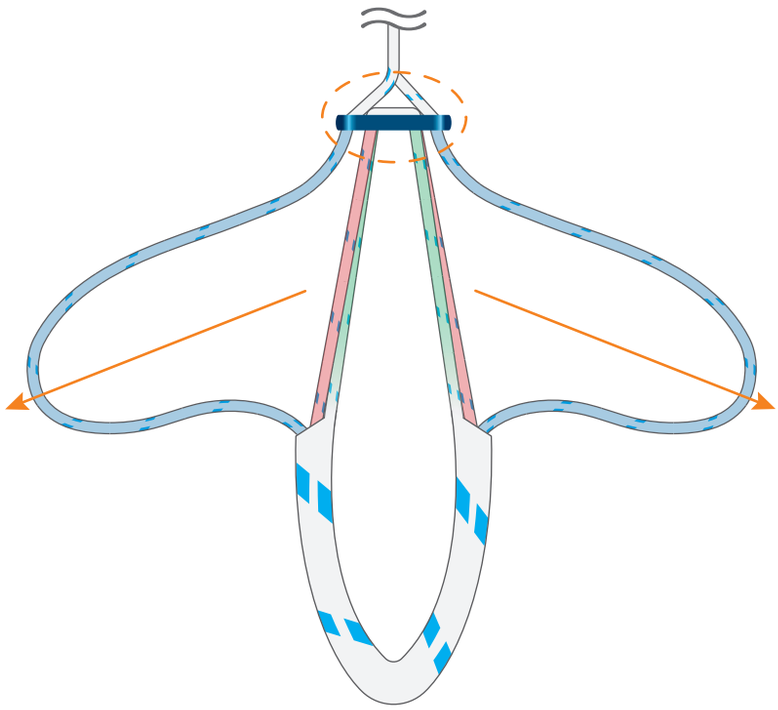
過剰にアジャスタブルループを縮めてしまった時に、ループを緩ませ元に戻す方法です。

ウルトラボタンの構造

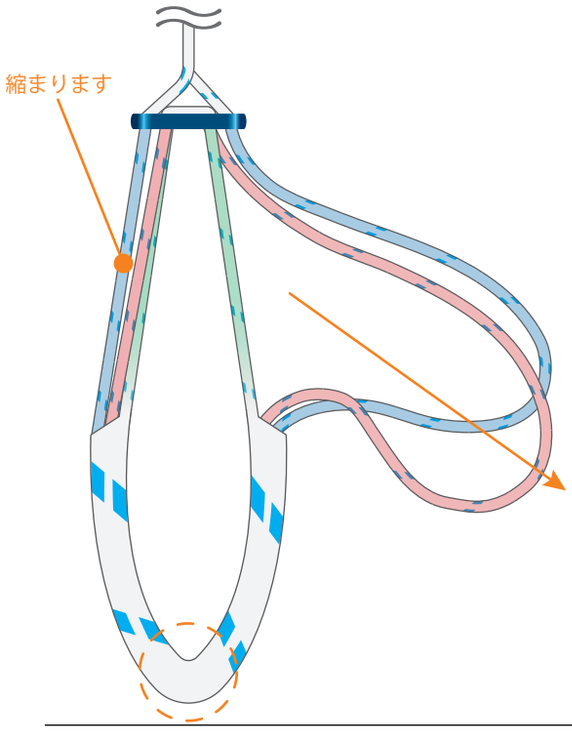


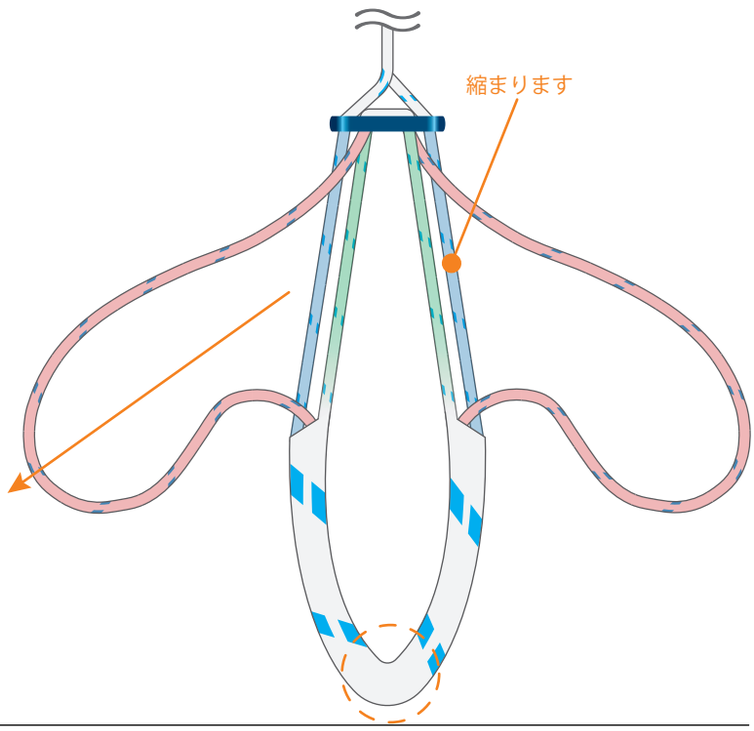
※実物は色分けされていません

1. Aの糸をアジャスタブルスーチャーの二股部分がボタンに到達するまで伸ばします。



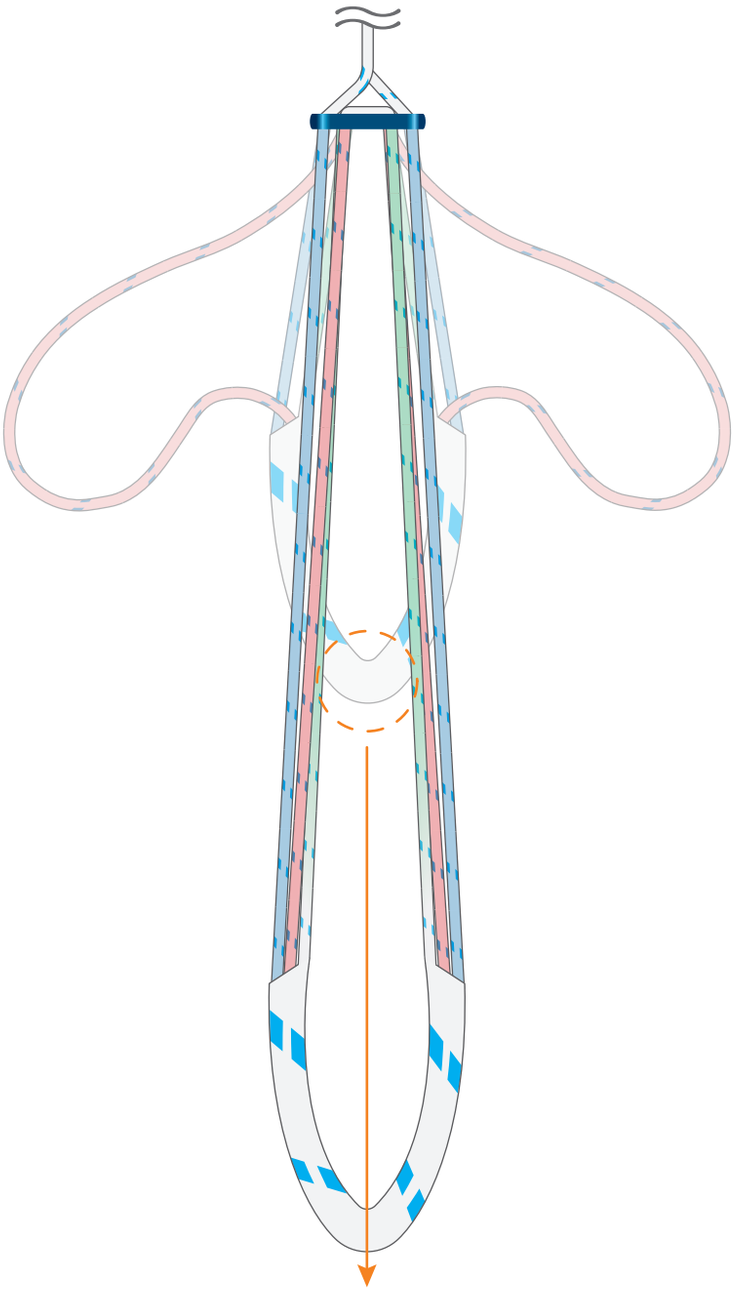
2. 鞘を抑えながらBの糸を引っ張ります。この時に反対側のAの糸が縮まっていくのを確認します。
この操作を左右の糸両方に行います。





4.　アジャスタブルループの緩ませ方法

3. ボタンを押さえながら、鞘部分を下方に引き下げ糸を均等にすると元の状態に戻ります。



承認番号：22900BZX00388000
販売名：ウルトラボタン

製造販売元：株式会社ニッコーテック
届出番号：33B3X10004000066
販売名：ウルトラボタンホルダー Short

製造販売元：株式会社ニッコーテック
承認番号：33B3X10004000042
販売名：ウルトラボタン器械

承認番号：22100BZX00212000
販売名：ウルトラブレイド スーチャー

承認番号：22000BZX01682000
販売名：ドリル アンド ワイヤー（滅菌済）

届出番号：13B1X10222SC005C
販売名：ACL/PCL 手術器械

届出番号：13B1X10222SC0023
販売名：グラフトマスターⅢシステム

スミス・アンド・ネフュー株式会社
スポーツメディスン事業部
https://www.smith-nephew.com/ja-jp
©2025 Smith+Nephew KK